



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 25th January 2018

IDFプレスリリース

2018年1月25日、ブリュッセル発

持続可能な食事における乳の役割

持続可能性の課題に対処する統合的なアプローチ

**The Role of Dairy in Sustainable Diets: an IDF
Symposium presenting an integrated approach to
capture challenges towards sustainability**

2018年2月1日ー2日、スペインはセビリアで「持続可能な食事における乳の役割」シンポジウムが開催され、環境的側面および社会経済的側面に及ぼす乳の影響について最新の科学的な知見を参加者と一緒に討議する予定である。

オリバー・ジョリエット教授 Olivier Jolliet は、「乳の環境影響および栄養面の影響、ベネフィットと食事における乳の役割—食糧と持続可能性は複雑な分野」と題してプレゼンテーションする予定である。

持続可能な食品やヘルシーな食品が消費者の人気を博している。「しかし、私たちは環境的な影響や栄養健康的な影響を定量的に比較できる道具を持っていません。環境および栄養の影響を説明するためにライフサイクルアセスメント (LCA) アプローチを拡張して栄養学と環境科学の溝を埋める研究をしています。」とジョリエット教授は語った。

「健康栄養指数 *Health Nutritional Index (HENI)* を用いた、新しい栄養学的な LCA 影響カテゴリーを提案します。HENI は、1 回の食事当りの障害調整生命年 (DALY) で表現された、あらゆる原因による疾病の減少を総合的に定量化し、15 の食事リスク要因を説明します。HENI は、栄養教育、健康の増進や個人的な食事の判断に資する情報ツールです。」とジョリエット教授は附言した。

イタリアのブラツアッレのピエルクリスティアーノ・ブラツアッレ氏は、食糧生産の実質的な環境影響を算定する異なるアプローチを示す予定である。「このコンセプトをもう少し明確に説明しようと思います。何が環境影響なのかを示すために多くの指標やアプローチがあります。この状況が消費者や利害関係者の間で混乱をもたらしているようです。」ブラツアッレ氏は説明した。

「最後に、世界中のその他の研究と整合性のとれたイタリアでの異なるアプローチ2件を紹介します。これらの研究においては個別の食品の栄養価値とウォーターフットプリントやカーボンフットプリントなどの指標で算定した環境影響を結びつけます。」

ブラツアッレ氏は、総合的なアプローチを示した上で、乳製品の実質的な環境影響を示し乳製品のイメージを改善するために異なるシステムを採用することを提案する予定である。「最終的な目標は、実質的な影響は考えていたよりも少ないことを消費者に理解していただくことです。」

当シンポジウムのプログラムは <https://www.fil-idf.org/idfevent2018/>を参照ください。

完

翻訳：J I D F事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。